

# 南高沿革史

明治四一年	八月	一日	長崎県立佐世保中学校、保立町三八番地に設立認可される
四二年	四月		長崎県立佐世保中学校創立される
四五五年	四月		私立成徳高等女学校と改称する
大正元年	九月		私立成徳高等女学校と改称する
一年	五月		私立成徳高等女学校、市立に移管される
一二年	四月		佐世保市立夜間中学校、長崎県立佐世保中学校校舎に開校される
昭和五年	四月		東和中学校、中里に開校される
一六年	三月		長崎県立佐世保第二中学校創立される
一六年	九月		長崎県立佐世保中学校、日宇町に移転する (現在の長崎県立佐世保南高等学校敷地)
二〇年	八月一日		太平洋戦争、終戦
二三年	四月		旧制中学校が新制高等学校となり、長崎県立佐世保中学校が長崎県立佐世保第一高等学校となる
二三年一二月二四日			長崎県立佐世保第一高等学校、長崎県立佐世保第二高等学校、長崎県立佐世保女子高等学校、佐世保市立東和高等学校、佐世保市立成徳高等学校の五校を統合して
二四年二月一日			長崎県立佐世保南高等学校、長崎県立佐世保北高等学校の二校として設立準備完了する
二四年二月一日			長崎県立佐世保南高等学校として正式に認可される
二五年二月一日			普通科生徒定員一二〇〇名
二六年一二月二五日			旧長崎県立佐世保中学校跡地を日宇校舎、
二八年三月二八日			旧長崎県立佐世保高等女学校跡地を白南風校舎として本校が繼承する
二九年三月三一日			第二回卒業式で校歌を発表する
二九年三月三一日			白南風校舎は長崎県立短期大学佐世保商英部創立移管のため日宇校舎に移転統合する
二六年一二月二五日			長崎県第二号、市内で唯一の本格的大体育館竣工する
三〇年三月三一日			近代的図書館竣工する
昭和三一年五月一七日	五月一七日	日本水泳連盟甲種公認競泳用プール、長水路第六四号の工事着工する	
三一年七月		より西北端に移設する	
三二年一〇月四日	四日	日本水泳連盟甲種公認競泳用プール、長水路第六四号の工事竣工する(メルボルン型)	
三二年八月		第五回全九州高校水上選手権大会、本校の公認五十メートルプールで開催される	
三三年七月		第七回全九州各県対抗水上選手権大会、本校の公認五十メートルプールで開催される	
三四四年二月一五日	二月一五日	生徒定員一二五〇名(二八学級)	
三四四年七月	七月	大校旗制定	
三四四年一月二二日	一月二二日	柏葉橋竣工する	
三四四年一一月二二日	一一月二二日	早稲田大学対長崎県水上大会、本校の公認五十メートルプールで開催される	
三五年二月一二日	二月一二日	旧制中学校以来の正門を現在地付近に移設する	
三五年四月一日	四月一日	生徒定員一三〇〇名(二九学級)	
三五年五月	五月	玄関東側に西洋式庭園を建設する	
三五年七月	七月	整容室(女子シャワー・更衣室)完成する	
三六年四月一日	四月一日	第八回生の植樹を基に万葉園の整備進む	
三七年六月二七日	六月二七日	生徒の夏服制定	
三六年四月一日	四月一日	生徒定員一三九五名(三一学級)	
三八年五月二〇日	五月二〇日	鉄筋校舎第一期工事竣工(西館)する	
三九年二月一日	二月一日	創立十五周年並びに新校舎落成記念式典を挙行する	
四〇年四月一日	四月一日	生徒定員一六九五名(三五学級)	
四〇年四月一日	四月一日	生徒定員一八〇〇名(三六学級)	

昭和四〇年一二月二五日	七月九日	音楽室竣工する
四一年	七月一〇日	集中豪雨
四二年	七月一〇日	集中豪雨のかたづけ作業
四三年	四月一日	生徒定員一七七六名（三六学級）
四四年	四月一日	生徒定員一七四〇名（三六学級）
四五五年	四月一日	生徒定員一六九二名（三六学級）
四六年	四月一日	生徒定員一六五六名（三六学級）
四七年	二月三日	早岐分校設立認可（昼間二部定期制）
四六年	四月一二日	早岐分校仮校舎（アツギナイロンKK）にて第一回入学式
四七年	二月三日	佐世保市内の全日制普通科三高等学校（長崎県立佐世保南・北・西高等学校）の昭和四七年度
四七年	四月一日	生徒定員一五四二名（三四学級）
四八年	一〇月一七日	早岐分校新校舎（田ノ浦町）に移転
四八年	四月一日	生徒定員一四四〇名（三二学級）
四八年	七月二四日	校舎第一期解体工事着工する
四八年	一〇月一九日	校舎改築第一期工事着工する
四九年	四月一日	生徒定員一三五〇名（三〇学級）
四九年	八月二六日	校舎改築第一期工事完了する
五一年	八月二三日	校舎第二期解体工事着工する
五一年	九月二二日	校舎改築第二期工事着工する
五一年	三月三一日	校舎改築第二期工事完了する
五二年	六月二七日	旧校舎第三期解体工事着工する
五二年	九月二日	校舎改築第三期工事着工する
五三年	三月三一日	同窓会寄贈の中庭造園工事完了する
五三年	八月三一日	創立三十周年記念式典を挙行する
五四年	二月二八日	育友会寄贈の前庭工事完成する
五五年	一月三〇日	新体育館建設計画に伴い宅地を佐世保市より交換取得する
五五年	二月八日	グラウンド一般開放に伴う夜間照明施設竣工する
五五年	三月三一日	クラブ部室、旧家庭科教室棟跡地に二棟竣工する

昭和五五年三月三一日	三月三一日	通信教育課程を中央高校へ移管のため閉校
五六六年	三月三一日	新体育館竣工する
五七年一〇月一日	一日	校舎改築第四期工事着工する
五八年一月六日	一日	クラブ部室竣工する
五八年三月三一日	一日	体育館シャワー室竣工する
五九年一月二二日	一日	屋外便所竣工する
五九年三月二二日	一日	生徒定員一三七〇名（三〇学級）
六三年四月一日	一日	生徒定員一三九〇名（三〇学級）
平成元年四月一日	一日	研究指定を受ける
平成元年元年	元年	長崎県教育委員会研究指定「国際理解・交流」領域について研究成果の発表を行う
元年三月二〇日	元年	国際文化交流館落成並びに創立四十周年記念式典挙行
元年七月三一日	元年	旧制中学校講堂跡地に庭球コート完成する
二年一月一〇日	二年	国際交流文化館周辺整備工事完了する
二年一月三一日	二年	国際交流文化館周辺整備工事完了する
二年三月二日	二年	早岐分校閉校
二年三月二十四日	二年	体育倉庫新築工事完了する
二年四月一日	二年	生徒定員一四一〇名（三〇学級）
三年二月二七日	三年	卒業記念ブロンズ像「飛翔」完成する
四年四月一日	四年	生徒定員一三五〇名（三〇学級）
五年四月一日	五年	生徒定員一三〇〇名（三〇学級）
六年三月三〇日	六年	自彌館（第二体育館・武道場）竣工
七年一月二五日	七年	生徒定員一二五〇名（三〇学級）
七年四月一日	七年	掘削井工事（深度一五〇メートル）
八年三月二九日	八年	普通科に文化系コース、理科系コースを各一学級新設
八年四月一日	八年	生徒定員一二三〇名（三〇学級）
三年二七日	三年	五十メートルプールおよび周辺施設解体

平成九年四月一日	生徒定員一二一〇名（三〇学級） 「長崎学」領域について長崎県教育委員会より研究指定を受ける
九年一〇月九日一一月	五十周年記念講演 光野有次氏（二回卒）
一〇年二月一〇年二月	五十周年記念講演 光武顕氏（二回卒・市長）
一〇年四月一日	創立五十周年記念「時計塔」完成
一〇年四月一日	卒業生の南北合同芸術展（島瀬美術館）
一〇年六月	テニスコート竣工（プール跡地）
一〇年七月一日	生徒定員一六〇名（二九学級）
一〇年八月一日	五十周年記念演奏会ピアノリサイタル
一〇年八月一六日	黒田照子氏（二十六回卒）
一〇年九月一日	南北交流球技大会（体育文化館）
一〇年九月一日	記念講演・小池寛治氏（十三回卒、駐アラブ首長国大使）
一〇年一〇月一六日	創立五十周年記念式典挙行
一一年二月二六日	体育館・図書館大規模改修工事竣工
一一年三月二〇日	創立五十周年記念「語らいの広場」改修工事竣工
一一年三月二十五日	体育倉庫新築工事竣工
一一年三月三一日	屋外便所・シャワー室竣工
一一年四月一日	生徒定員一二二〇名（二八学級）
一一年四月一日	生徒定員一〇八〇名（二七学級）
一一年四月一日	管理棟一・二階大規模改修工事竣工
一三年三月六日	生徒定員一〇四〇名（二六学級）
一三年四月一日	管理棟三・四階大規模改修工事竣工
一三年一〇月一七日	生徒定員一〇〇〇名（二五学級）
一四年四月一日	フレンドシップスクール調印
一五年二月二七日	米国D・A・プラウンミドルスクールと
一五年三月二三日	渡り廊下「さくら橋」竣工
一五年三月二八日	グラウンド屋外便所改修工事竣工
一五年四月一日	体育館裏校地整備工事竣工
一五年四月一日	生徒定員九六〇名（三四学級）
一六年四月一日	文部科学省より「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」の研究指定を受ける
一六年七月五日	早岐分校跡地に記念碑建立（柏葉会）
一七年四月一日	生徒定員八八〇名（三三学級）
一七年四月一九日	県教育委員会より「授業改善推進事業」の指定を受ける
一七年一〇月二二日	第三五回全国高等学校バレー・ボール選抜優勝大会
一八年四月一日	（春高バレー）全国優勝モニュメント建立
一八年四月一日	生徒定員八四〇名（二二学級）
一九年二月二五日	県教育委員会より「授業改善推進事業」の指定を受ける
一九年三月三〇日	東テニスコートオムニ改修工事竣工
一九年四月一日	文部科学省指定「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」最終発表
一九年九月一五日	西館内部改修（校史史料室）工事竣工
一九年九月一六日	校史史料室開設式挙行
一九年一二月一四日	創立六十周年記念式典挙行（アルカスSASEBO）
二〇年二月二九日	記念講演・原田泳幸氏（一九回卒、日本マクドナルドホールディングス株・日本マクドナルド株代表取締役社長兼CEO）
二〇年四月一日	受電設備改修工事竣工
二〇年九月一日	創立六〇周年モニュメント「南高魂」建立